

トピックス

まほら

まほらとは ~ 丘や山に囲まれたすぐれたよい所 ~
古事記「中巻」より

第3号

平成17年12月発行



自然に学び、地域に生かす
出雲土建株式会社
建設事業部 緑化事業課
TEL 0853-22-0388
FAX 0853-22-0377

Email : izd-ryokuka@i-doken.co.jp

出雲大社参道のクロマツを炭で樹勢回復！



17年の3月に、拝殿周辺と、参道の松の一部に対して、松の根元に炭八(木炭)を埋設して、樹勢の回復を図りました。10月の調査で、下記のように炭八(木炭)を敷いた層に細根が発生し、樹勢回復の成果が確認できました。この結果を受けて参道の松に対して、本格的に樹勢回復を図ることとなりました。出雲大社参道の松は、銅鳥居までの参道200mに渡り、見事な老木の松並木となっています。樹齢は350年以上で、寛永年間に栽植されたという記録が残っています。

木炭(炭八)による改良前・改良後 ~ 地下部の状況

改良前

平成17年3月

改良後

平成17年6月

改良後

平成17年10月



木炭の中に根が生え始めた。



木炭の中に根が密生してきた。

参道の松を本格的に樹勢回復！

炭八(木炭)とキノコ(菌根菌)で、クロマツの樹勢回復を行う作業を、出雲大社参道の松を対象に行いました。11月30日(水)に、現地においてマスコミに対して施工説明会を行いました。



マツの根元に溝を掘り、炭八(木炭)、チップ状の炭を敷きました。



きのこをつぶして、水に溶かしたものを炭の層に撒きます。

ヌメリイグチ

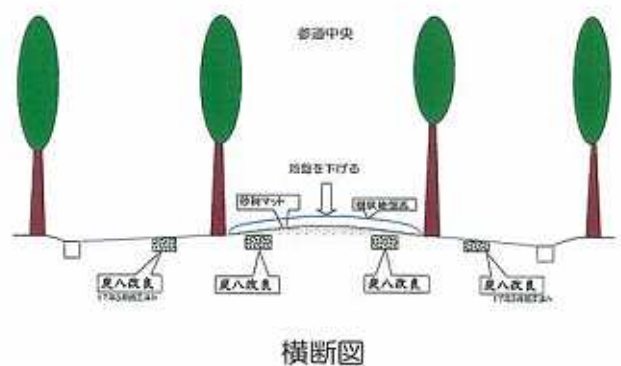
コツブタケ



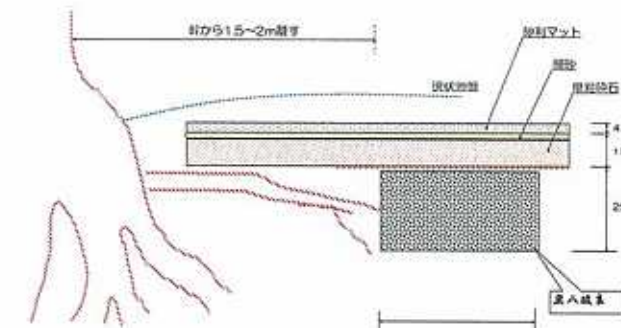
共生するキノコ(菌根菌)

工事の流れ

- 1、表土のスキ取り ・掘り上がっている砂利を20cmスクリップで掘り下げ根に空気を送りやすくします。
- 2、クロマツの補植 ・切株の除去をし、むき出しに強いクロマツの植栽をします。
- 3、炭八改良 ・参道幅方向に溝を掘り炭八を埋設し、共生菌の散布をします。
- 4、砂利マット敷設 ・表土に根腐れのマットを敷き詰め、砂利を敷き歩いても地盤の回復が早くします。



横断面図



断面図



当日は、時折雨が降るなか、報道各社の皆様が多数取材に来られました。夕方のニュースで、放送されたり、翌日の新聞等でも掲載されました。また、この日は施工指導をいただいております、農学博士の小川眞大阪工業大学客員教授、林業普及指導協力員の平佐隆文先生方にも、報道各社の皆様へ説明を頂きました。

クロマツと菌根(キノコ)の関係

クロマツは菌根(ショウロ、ヌメリイグチ等)と共生関係にあります。相互に栄養を交換しながら生育します。しかし近年は堆積した落葉等が土壌を肥やすなどして、共生する菌根が住みにくい環境となったため、樹勢が弱くなっています。

木炭と菌根(キノコ)の関係

木炭を土の中に入れることにより、クロマツの根と菌根が生育しやすい乾燥した環境になります。菌根は木炭に含まれるミネラル分を吸収し松へ供給し、松は菌根に炭水化物を供給します。これに適した木炭が炭八です。

翌日の新聞各紙に掲載されました！

産経新聞

山陰中央新報

島根日日新聞

読売新聞



キノコを手に、松との共生関係についてお話される小川教授

小川 眞 (おがわ まこと)

昭和12年京都府生まれ、京都大学農学部農林生物学科卒、同大学院博士課程終了、農林省林業試験場、農林水産省森林総合研究所 きのこ科長などを経て、現在大阪工業大学客員教授。主な著書に、「きのこの自然詩」「菌を通して森を見る」など多数を著書。

平佐 隆文 (ひらさ たかふみ)

昭和14年広島県生まれ、島根県立島根農科大学林業科卒、島根県林業技術センターにおいて、「きのこの栽培技術開発」の試験研究と普及活動に従事。

個人宅での樹勢回復！



平成17年1月



平成17年11月



出雲市内小山町Nさん宅の門掛けの松の樹勢回復として、今年初めに松の根元を掘り、左の写真のように炭八木炭を敷きました。現在は、上右の状態、樹勢回復の効果がでています。

赤来のボダイジュを治療！

飯南町赤来下来島にある、県指定の天然記念物「下来島のボダイジュ」を樹木医柿田義文先生ご指導の下、樹木治療を行いました。



このボダイジュは、マンシュウボダイジュで、日本では稀な樹木です。樹高約15m、根元周6m、ほぼ、盃状をしている樹冠は、東西南北とも約20mに及びます。毎年6～7月頃に、約10cmくらいの花を付け、芳香を漂わせ、十月頃に実が熟します。樹齢は約200年くらいと伝えられています。

治療スタート！

腐朽部を切除する
人工樹皮を塗布
炭八ハードユン工法 治療完了！

